

しゅうれんかい (修練会) からのメッセージ

公益財団法人豊島修練会 2019年1月17日号 (通算第49号)

子どもたちへ (小さなお子さんには読んであげてください)

今年はどうなことをがんばりますか？

どんなことをしたいですか？

目標にしていることは何ですか？

77歳の私の子供のころの日記 (小学校4年生)

を見てみました。

「今年は、けんだまがうまくなりたい。」

「算数をがんばる。」と書いてありました。

このころから算数がおもしろくなり、

大学では、数学を勉強しました。

目標をもって、今年も元気に過ごしましょう。



大人の皆様へ (パパ&ママ、ジジ&ババ)

友人の子ども (23歳) が、厳しい就活を見事に乗り越えて就職したのに、去年の暮れに退社してしまいました。その理由は、「上司が厳しい」「先輩からあれこれ注意されるので嫌になった」などということでした。

友達曰く、「あの子は、優しい子で、小さい時から注意したり、叱ったりしたことがほとんどなかったのに、上司や先輩の厳しい指導に耐えられなかったようだ」ということでした。最近、このような若者が少なくないそうです。

ほめる教育は大事ですが、いいところを見つけてほめて意欲的にする一方で「ダメなことはダメ」「こうした方がいいよ」ということも言ってあげて、ほかの人の注意や指導を冷静に受け止め、納得したら改められるように育てていくことも大事にしたいものです。

学校の先生がたへ

暇なので、算数科や総合的な学習の時間など校内研究の助言者に依頼されることがあります。多忙な中ですが、教師の授業力の向上が「子どもに質の高い学力」を向上させるために、各学校は頑張っています。そこで感じたことを紹介します。参考になれば幸いです。

○授業者だけでなく、学年や分科会で、協働して研究を進めていて素晴らしい。

○子供のつまづきに対する手立ての工夫があり、分からない子への配慮が考えられている。

○協議会での表面的な発言が減り、子供の学習状況や反応、教師の指導ぶりを観察し、その事実に基づいた意見、提案、質問などが多くなってきた。好ましい傾向である。

○導入に凝りすぎ、考える時間や学び合いの時間が不足する傾向があり改善が必要である。

○同じテーマや課題を研究してきた学校に学んで、その上に積み上げていく進め方も考えていただきたい。0 (ゼロ) からの出発を見直したい。

(BOKE-K)

★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」や「至楽荘」の利用の仕方、「成美教育文化会館」の会場貸出など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。



